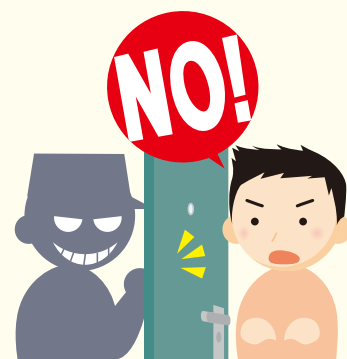


伊吹石油ガスの大切なお客様へ重要なお知らせ

## 知らない業者からの 営業・勧誘にご注意下さい

『無料点検』で不具合が見つかったと  
契約させる手口にご注意下さい

「給湯器の点検に行く。」「風呂場の点検をする。」などと電話で告げて訪問の約束をとりつけ、「すぐに工事が必要」などと不安をあおって契約を勧める事業者が確認されています。以下の点にご注意いただき、慎重な対応をお願いいたします。



### 【消費者へのアドバイス】(東京都消費生活総合センターから抜粋)

- 知らない事業者から「給湯器の点検をします。」などと連絡があった場合は、事業者名と点検理由を確認しましょう。家の中へ招き入れると、高額な工事を強く勧誘されることが多いので、慎重に対応しましょう。
- 工事を勧められても、その場ですぐに契約せずに、家族や身近な人に相談し、複数の事業者から見積をとって工事内容や金額等を十分に検討しましょう。
- 同様のトラブルでお困りの方、事業者の対応に疑問を感じた方は、すぐに最寄りの消費生活センター等に相談してください。



訪問販売による契約は、契約書面を受け取った日から8日間以内であればクーリング・オフができます。8日間を過ぎていても解約できる場合もあります。契約に不安を感じたり、解約時にトラブルになったりした場合には、最寄りの消費生活センター等に相談してください。

東京都消費生活総合センター 03-3235-1155(相談専用電話)

# LPガス保安高度化作業 (IoT-R設置) のご案内

伊吹石油ガスでは、LPガス保安の高度化を目的に、IoT-R (LPガスIoTシステム) の設置を進めております。つきましては、右記工事期間中に実施をいたしますので、ご案内申し上げます。

**工事期間 2026年5月11日～11月30日**

- 順番に訪問させていただいておりますので、工事期間内での訪問となります。
- 外での作業のみですので、ご不在でも構いません。お留守の場合でもガスメーターの場所まで立ち入らせていただきます事を予めご了承ください。
- 作業費用はかかりません
- 作業完了後は「作業完了のお知らせ」チラシを投函いたします。



東洋計器 IoT-R

## IoT とは？ (Internet of Things)

インターネット経由でセンサーと通信機能を持ったモノが、情報をインターネットを介し様々な場所で活用することができる次世代通信機器を言います。

設置例



## IoT-Rを設置してできること・・・



### ガスメーターの自動検針

ガスメーターに付属している通信装置がガスメーターの指示数等のデータと通信することで遠隔検針が可能となり、敷地内に立ち入ることなく、ガスメーターの自動検針ができるようになります。



### 遠隔操作でガスの遮断・復帰

ガスメーターが異常を検知した際、ガスの遮断・復帰を遠隔操作で行うことができます。自動化することでガスの使用状況を見守ることができ、より安心・安全にプロパンガスをご利用いただけます。



### ガスの配送効率化

通信回線を使用して遠隔でのガス使用量の計測が可能になり、ガスの使用量がわかることで、ガス切れの防止・ガスボンベ配送の効率化につながります。



### ペーパーレス化で環境配慮

紙の検針票をなくし WEB 明細サービスを現在展開中です。用紙やインクの廃棄物の削減につながり、環境への負担を軽減します。

## 灯油の保管方法

灯油の保管する容器は、ポリエチレン製の専用タンク(ポリタンク)や一斗缶、金属製のタンクなどで保存します。

灯油は紫外線によって劣化しますので、灯油を保管する容器は、すべて不透明です。これは、直射日光が灯油に当たらないようにするためです。また、保管場所も直射日光の当たらない、涼しいところが良いので、倉庫などがあるご家庭はそちらに保管しましょう。倉庫、物置などが無い方は室内に保管すると思いますが、やはり、直射日光の当たらない、涼しいところを探して保管してください。

いずれにしても、良好な保管状態が確保できない方や、保安上で心配な方は、処分することをお勧めいたします。弊社でも、灯油の処分を行っておりますので、お問い合わせください。

(処分費有料:ポリ缶1缶700円)



## カートリッジ缶について

カートリッジ缶は手軽にどこでも使用できる燃料として、一般家庭・飲食店の鍋料理やキャンプ等のレジャー用に広く普及しています。

また、一般家庭等で使用されている殺虫剤や塗料、化粧品用のエアゾール缶等にも可燃性ガスが使われています。

廃棄処分する際は、缶に表示されている注意事項を良くお読みになりまして、適切に処分していただきますようお願い致します。



## 体を夏仕様にする

一年の寒暖の差のある日本では、体も季節に応じて順応します。同じ20℃でも冬と夏では体感が全く異なることでも実感できます。体の発汗量もそれに連動して変化して、夏は汗をかきやすくなり、体温が上がり過ぎないようになるそうです。ところが、暑さに弱いという人の汗の量を調べると、暑さに強い人に比べて汗が少なく、体温を下げる機能が弱いという事があるそうです。エアコンが効いた部屋に居ることが多いと、体が夏型にうまく切り替わらないということでしょうか。汗腺機能を鍛えるには、まず、軽い運動でよい汗をかくことがよいことです。運動も長続きする方がよいので、ウォーキングは最適だと言えます。また、栄養バランスを考えて食事をしっかり取る、風呂もぬるめのお湯で15～20分程度ゆっくり温まることも、夏を元気に過ごすことに繋がります。このようなことは、生活病気の予防や、風邪を引きにくくする効果も期待できますが、省エネ・節電にも影響すると言えます。夏に向かうこの時期に、早めに体を夏に対応できるようにして、うちわや扇風機で過ごせる期間を少しでも長くしたいものです。



## 私たちと一緒に働きませんか？

西多摩地域を中心に、地域の皆様から支えられて50年以上、事業を続けてこれました！ 次の50年、創業100周年を目指して、一緒に働いてくれる仲間を大募集中です！

伊吹石油ガス株式会社だけでなく、グループ企業各社でも積極募集中！！



お気軽にお問い合わせください。 TEL : 042-555-4411 担当：島田・中村